

## 再任用・再雇用職員・非常勤教員部ニュース

No. 308

2018.3.10

東京都公立学校教職員組合（東京教組）

再任用・再雇用職員・非常勤教員部

〒101-0003 東京都千代田区一ツ橋 2-6-2 2F

TEL. 03-5276-1311 FAX. 03-5276-1312

# 国家公務員の「定年延長」の実現に向け、 政府が人事院に検討を要請！

政府は、2月16日、「公務員の定年の引き上げに関する関係閣僚会議」を開催し、「公務員の定年の引き上げに関する検討会」（以下、検討会）において取りまとめられた論点整理を了承し、人事院に対し、国家公務員の定年引き上げに関わって職員の分限及び給与に関する事項についての検討を要請しました。これにより、国家公務員の「定年延長」について一定の見通しがついたこととなります。定年の引き上げについては、すでに「経済財政運営と改革の基本方針2017」（骨太の方針）においても「公務員の定年の引き上げについて、具体的な検討を進める」と明記されたことを受け、昨年6月、政府内に検討会が設置され、高齢雇用の現状や給与等の実態や課題把握がなされ、論点整理が行われてきました。

定年延長については、引き上げ後を含む生涯を通しての給与水準の確保・拡大や退職手当など、実現までには様々な課題をクリアしなくてはなりません。日教組とともに、公務労協に結集する多くの仲間と、要求実現に向けて闘っていきましょう。

一方、学校現場では、長時間労働が蔓延し、現在の定年である60歳を待たずに「定年前退職」を選択する人も少なくありません。現在の40歳台が迎えるであろう「定年延長」が、学校現場では「絵に描いた餅」であって良いはずはありません。この観点からも、学校現場の「働き方改革」は、「待ったなし」です。東京都教育委員会は、「学校における働き方改革推進プラン」を発表しましたが、その内容は当面の目標を「在校時間が1週あたり60時間を超える教員をゼロにする」とし、都立学校については「1日あたりの在校時間を11時間以内」「土日のどちらかは必ず休養できるようにする」としているなど、現状の違法なオーバーワークを追認するかのようになっています。まずは「週あたり38時間45分」の勤務時間をきっちり守らせるために、職場の声を上げていきましょう。

# 諸悪の根源は、「給特法」だ！ 日教組作成の動画で「意思統一」を図ろう！

学校現場に現在のような「長時間労働」が蔓延することになったのは、1971年に制定された「給特法」のためです。この法律により、公立学校の教員は「労働基準法 37 条」の適用外とされ、どんなに仕事をしても「自主的」とみなされて「残業代」が支払われない仕組みになっているのです。現在の国会に安倍政権が提出しようとしている「働き方改革」の法案の中にある「高度プロフェッショナル制度」は、既に私たちに適用されているというわけです。こうした「給特法」の問題点を開設した動画を、日教組が作成しました。

<https://www.youtube.com/watch?v=bzSalDvyF3A&sns=em> のアドレスかユーチューブで「給特法」を検索すると、視聴することができます。時間も 3 分ほどなのであまりかかりません。タブレットやスマートフォンでも視聴できますので、職場の若い仲間にもぜひ紹介しましょう。そして、「給特法の見直し」に向けて現場の「意思統一」を図っていきましょう。

## 韓国フィールドワーク その 3

元部長 城田 純生

13 日（月）。今日は自由行動だそうだ。2 つオプションがあり、歴史的な場所の見学の方に行くことにした。キャンドル革命の現場である光化門周辺の見学である。地下鉄に乗って行くのだが、みんなについていくのがやっとなのである。セオルグ号事件の真相究明を訴えるテントが立っている。そこで、カンパをしたら黄色いリボンをいただいた。

しばらく進むと警察官の姿が増えてきた。ここは何処ですか？と尋ねると、米大使館だと教えてくれた。確かに星条旗が翻っている。日本の米大使館は近くにさえ行けないのに…。

そこを過ぎて、KT（コリアン・テレコム）の社屋でトイレを借りる。近代的な素敵なビルの中に入って驚いたのだが、1 階のフロアにカラフルなテントが張られている。〇〇は OUT と書いてある。「会長は出ていけ」ということらしい。この会社の労働組合の人かな？と思ったが、日本ではあり得ない光景である。



### 少女像

次に行ったのは日本大使館前の少女像である。現在、日本大使館は改築工事をしていて、裏手にあるビルの何階に間借りしているそうだ。道路を隔てたこちら側の歩道に少女像は椅子に座った状態で立っていた。その隣に透明ビニールで覆われた 8 畳間くらいの広さのフロアの見張り場があった。中に人がいて 24 時間交代で少女像を見張っているそうだ。そ

の人に出てきてもらって説明を聞いた。この行動には 100 人ぐらいの大学生が参加しているそうだ。何かあったら、すぐに人が集まって来るようになっていたとのこと。経産省テントみたいだなと思った。また、ここにはテントを張ることができず、このようなビニールの覆いでやり繰りしているそうだ。日本人が訪ねてきたことや関心をもってくれていることに感謝していると言ってくれた。日本人としての責任を感じた。これから冬に向かって寒さで身体を壊さないようにと伝えた。最後に写真撮影をして別れた。

次は 3.1 独立運動発祥の地であるタプコル公園に行き、日帝時代に警察や軍隊の弾圧にもめげず独立宣言を発し、果敢に闘った朝鮮民族の名もなき勇士達を表現したレリーフを見学した。日本の歴史教科書ではさらりと終わってしまう歴史も朝鮮の人々の記憶の中には語りつくせないものとしてあるのだということが分かった。もっともっと、日韓の歴史を学ばなければと痛感した。

### 全泰堧（チョン・テイル）の銅像

平和市場の隣に流れている川沿いの道を歩いた。この清流の川が昔はどぶ川であったので、数年前まではこの川が暗渠になっていたそうだ。そして、この上に高速道路があったことなど教えてもらった。この川の対岸に市場が立ち並び食事もここでとることができるそうだ。市場に入ってみると買い物客や昼食で立ち寄っている人で一杯だった。

市場から少し歩いた橋の上に全泰堧（チョン・テイル）の銅像が立っている。全泰堧は平和市場株式会社の縫製工場に就職し、そこで働く女性労働者の多くが劣悪な環境で働かされている現状を知り、朴正熙大統領に手紙を送ったりして改善を訴えたそうだ。また、工場の労働実態や労働環境について調査しそれに基づいて待遇改善の陳情をしたりする活動家であった。それでもなお、一向に改善の兆しが見られなかった。そこで、1970 年 11 月 13 日このような状況に抗議するための集会を計画し実行に移そうとした矢先、警察と事業主に強制解散させられそうになったため、全身にガソリンを被って焼身自殺をし抗議した。

その直後病院に運ばれたそうだが、治療の甲斐なく 22 歳の若さで息を引き取ったという。

全泰堧の焼身自殺をきっかけに労働者の悲惨な実態が報道されるようになったことで、朴正熙政権における経済成長の負の側面が明らかになり停滞を余儀なくされていた労働運動が活発になった。（1970 年の労働争議は 165 件であったのが翌年 1971 年には 1656 件と 10 倍以上に増えた。）ちょうど、この日は全泰堧の弟さんが銅像の前でお話をしてくれた。

時代は進んで、1987 年の民主化抗争の翌年 1988 年から労働者集会は全泰堧の命日である 11 月 13 日の前後の日曜日に開くようになった。

そのような価値ある集会とデモに参加できたこと、尾沢さんたち日韓連帯民衆委員会の皆さんに感謝する。この後は、ホテルに戻り荷物を持って金浦空港まで行き、空港に隣接しているロッテマートでお土産を購入した。

チョン・テイルの像



JAL94 便で午後 9 時頃には羽田空港に到着し全日程が終了した。短い様だが充実した 3 泊 4 日のフィールドワークであった。尾沢さんを始め日韓連帯民衆委員会の方々には大変お世話になった。また、韓国サンケン電気労組の方々、民主労総の方々、AWC 韓国委員会の方々には多大なる歓待を受けたことを、ここに感謝する (完)

## 2,16 納税者一揆勃発！ 集会報告

### 1100名 怒りの声をあげる

財務省・国税庁包囲



確定申告の初日の 2 月 16 日、東京で、「モリ・カケ追及！緊急デモ」(主催：森友・加計問題の幕引きを許さない市民の会)が行われました。

デモに先立ち、財務省・国税庁包囲行動が行われました。緊急の呼びかけにも拘わらず、財務省前と対面の経産省前の歩道は、主催者が用意した[納税者一揆 勃発ス<国民なめんな! 安倍・麻生 音声

記録 嘘はない>]と書かれたプラカードを持った人々でぎっしり埋まり、経産省前側から、大音量のスピーカーを通して、財務省に向かって市民の怒りの声が響きました。報道関係者も多く集まりました。

初めに「市民の会」の醍醐氏が「確定申告初日に緊急の行動だ。憤りが背中を押しての行動だ。佐川はいるか。国民の神経を逆なでしている。悪代官 3 人組はアベ、アソウ、サガワだ。アベ夫人アキエ氏は、籠池氏と同じ条件で国会に証人として出て、100 万円はどうだったのか、白黒つける以外に幕引きはない。(私たちは) 一步も引きさながらず、第二弾、第三弾と追及する。」

と、「納税者一揆」の思いを語りました。

財務省の窓の内側からは、役人が何人も顔をのぞかせて様子を見ていたようです。写真を撮っている者もいました。きっと人がいっぱい集まったので驚いたのでしょう。

野党 6 党の国会議員たちが、次々に発言しました。

<立憲民主党・川内博史議員>

国の骨幹が揺らいでいる。税は国の骨幹だ。それを佐川長官はぶち壊している。安倍政権は説明責任を果たしていない。民主主義を語る資格はない。

<希望の党・今井 雅人議員>

あんな重要な書類を破棄したと言った。しかしその書類が出て来た。テープも出て来て価格交渉をしていたことが明らかになった。しかし、佐川氏が出てこない。こういう人たちが税金を集めている。佐川氏を証人喚問で国会に呼ぶべき。

日比谷公園からデモ出発



<民進党・杉尾秀哉議員>

高い税金を集めている責任者が国会でウソを言い、記者会見もしない。納税者には「書類を出せ」と言い、追徴までしている。佐川氏のやっていることがなぜ許されるのか。サガワ、アキエ、出てこい！ アベを引きずり降ろそう！

<共産党・宮本たけし議員>

佐川氏の後任の太田氏もデタラメだ。国会で聞いたことにも答えない。佐川氏を証人喚問だ。おおもとは安倍昭恵氏と安倍首相だ。

<自由党・森ゆうこ議員>

(財務省の建物に向かって) 財務省の皆さん！記憶がないとか、確認できない、などと言っているが、役所の皆さんもおかしいと思っているのでは。財務省の皆さんにこそ声を上げてもらいたい。国民のために。

<社民党・福島みずほ議員>

超党派で佐川氏に要請しようとした。しかし、本人はいなかった。虚偽答弁の佐川氏を国会証人喚問する。出てこい！ 税金・政治の私物化はゆるされない。一方で沖縄では人々が弾圧され、籠池氏は閉じ込められている。安倍首相は「私や妻が関与していたら、議員も総理も辞める」と言った。辞めてもらおう。

最後に主催者の杉原弁護士が、次のように述べました。

「この間『生活保護費』は下げられ、また奨学金で多くの若者が苦しんでいる。しかし、首相に親しい人(籠池氏)には9割にもなるような減額をしている。こんなキタナイ政治を許せない。私たちは黙ってはいけけない。子どもたちの為にも声を上げなければいけない。今回の問題は氷山の一角だ。私たちの怒りをぶつけて行こう！」

財務省・国税庁の包囲後、日比谷公園から銀座方面に向けてデモ行進をしました。沿道の人々の注目を集めたと思います。

16日の行動は確定申告初日ということもあり、タイムリーで、かつかなりインパクトのあるものだったと思います。集まった人は、緊急で昼の時間帯(13:30~)だったにも関わらず、1100人と発表がありました。

3月3日(土)にも2度目のデモと包囲行動が行われ、前回は上回る1500名の参加者で、抗議のシュプレヒコールをあげました。

## 「確定申告」雑感

今回の申告から、すべての申告を税務署とする立場となりました。4月に職場から完全にはなれ、給与収入がなくなった立場となったからです。昨年度の収入から算定された税金を払わされてきていたのですから、確定申告での調整や還付を受けなくては、割が合いません。

昨年3月までの給与分の源泉徴収票を、1月末に旧勤務校まで取りに行きました。その他の収入となる厚生(共済)年金と国民年金の2つ分の源泉徴収票も、送られてきたものをしっかり保管して、用意して行きます。もちろん、控除分の生命保険・介助保険・地震保険など

社会保険の支払い証明となる書類も大事なものとなります。

実は今回私は、修正申告まですることになりました。うっかり国民年金分の源泉徴収票と個人の介護保険支払い分の控除金額の申告を忘れて、届け出をしてしまったからです。帰宅後、書類の整理をしていて、添付すべきそれらの文書が残っていることに気が付きました。

嘘ばかり言ってきた長官がいる税務署に、わざわざ「訂正届け」なんてしなくとも…と考えてしまいました。年金の収入分を少なく申告したのですから、還付金が減額されるのがわかっていますから…。国税庁の長官が、「書類を処分した。記録がない。」というのだから、われわれ国民だって「うっかり忘れた。」と済ませたって、かまわないだろうと思ったのが本音です。同じように苦々しい思いをしている人が、たくさん集まって、「納税者一揆 ― 勃発!」だったのですから。届け出の間違いに気づかなければ、「面倒だな、佐川って奴は、ひどいやつだ。」で終わったかもしれません。

しかし、庶民は弱い立場。どうしようと悩んだ挙句、あえて修正申告をえらびました。「佐川氏と同じ嘘つきにはなりたくない。」とでもいうのでしょうか、同列の「恥知らずにはなりたくない」との気がしたとも言えます。「得(とく)」にはならない「おかしなプライド」が働いたのかもしれない。

再び出向いた税務署で、前日と同様の書類を作りました。説明をうけ、滞りなく「修正申告」が進められます。署員が「確定申告の確認です」と言ってチェックし、「還付金は2万…円です。」と伝えました。前日聞いた還付金は「4万…円」。「あーあ」と心の中で叫びたくなりました。こうして、グダグダ書いているのは、やっぱり、「損したなあー」の気持ちがいっぱいの「納税者」だからなのです。

66歳 元非常勤教員

## これからの予定 若い仲間たちにも声をかけましょう

3月19日(月)「安倍改憲 NO! 国会議員会館前行動」18:30～ 衆院第2議員会館前

21日(水)春分の日「さよなら原発3・21全国集会」12:30～15:00 代々木公園  
15:00よりデモ行進

### 来年度の部会予定

4月18日(水) 再任用・再雇用職員・非常勤教員部常任委員会

16:00～ 東京教組会議室 各地区で常任委員を選出してください。